平成19年度中小企業診断士2次試験
事例1：再現答案

第1問（100字）

宝飾品市場は、インポート市場が拡大しているが、デザイナーが海外にいるため、消費者のニーズを反映させづらいこと、従業員が契約社員やアルバイト中心であることから、不透明さや複雑性を抱えている。

第2問（150字）

メリットは、①自ショップの管理に限定でき少人数配置が可能、②セキュリティのため正社員を配置する必要がないことである。デメリットは、①他ショップとの連携が取りづらい、②周りに合わせなければいけないである。

第3問（100字）

A社ブランド認知度を高めるための旗艦店という位置づけとする。施策として、①顧客のニーズを収集し、新商品の開発に活かす、②店頭での細やかな対応で口コミを強化する、③テストマーケティングを行うことである。

平成19年度中小企業診断士2次試験
事例1：再現答案

第4問（設問1）（100字）

業績を反映した報酬制度になっていないと感じているからである。Xブランドは、価格も高く、利益額も高いことから、より貢献度が高いと思っているのに、標準化した給与体制になっていることで不満を感じている。

（設問2）（100字）

ショップにおける自由度が低いと感じているからである。具体的には、①正社員のいない店舗もあり、権限がないこと、②提案等の処理が迅速でないこと、③他ショップとのコミュニケーションシステムがないことである。

（設問3）（100字）

原因は、経験の少ない正社員が多く、昇進や将来が明確でないからである。施策は、①昇進や昇給の評価基準を明確にする、②定期的なショップ間での異動を行い、コミュニケーションの促進を図ることである。

平成19年度中小企業診断士2次試験
事例1：再現答案

第5問（100字）

収益構造を改善するための施策は、①仕入れ価格と販売価格を見直し、顧客ニーズに沿った価格とする、②店舗の特性や繁閑に合わせた柔軟な人員配置を行う、③報酬制度を業績連動型とすることである。